



— 新年の阿蘇神社社頭 —  
 阿蘇神社 <http://asojinja.jp>

# 報社 あそみや

平成27年1月1日

第 61 号

発行所

阿蘇神社社務所  
 多良見町化屋862  
 ☎ 0957-43-5235

## 謹賀新年

阿蘇神社

宮司 大島 大明

平成二十七年の初春を寿ぎ、氏子崇敬者皆々様のご多祥を祈念申し上げますと共に、本年も格別のご支援とご高配を賜りますようお願いいたします。

今年（乙未）は、十二支では八番

目、方位では南南西、時刻では午後一時から午後三時、動物では羊（ヒツジ）を当てます。

羊は古来肉獣として飼育されていましたが、吉祥動物とも言われ

ていたようです。「羊」は「祥」に通じるので縁起がよいとされ、「羊致清和（羊は天下太平をもたらす）」という言葉もあるようです。

また羊は草の食べ方も上手く、牧草地で牛や馬が食べ尽くした後でも短くなつた草を地面の間際まで食べる事が出来るそうです。

不景気が続く昨今、吉祥の羊さんに頑張ってもらい、景気回復の年にしてもらいたいものです。

### 敬神生活の綱領

神道は天地悠久の大道であつて、崇高なる精神を培い、大平を開くの基である。

神慮を畏み祖訓をつぎ、いよいよ道の精華を發揮し、人類の福祉を増進するは、使命を達成する所以である。

ここにこの綱領を掲げて向ふところを明らかにし、実践につとめて以て大道を宣揚することを期する。

一、神の恵みと祖先の恩とに感謝し、

一、世のため人のために奉仕し、  
 神のみこもちとして世をつくり固め成すこと

一、大御心をいただきてむつび和らぎ、

国の降昌と世界の共存共栄とを祈ること

# 平成三十七年節分祭 豆撒き奉仕者募集!!

阿蘇神社恒例の節分祭が二月三日(火曜日)に行われます。

諫早市を代表する迎春行事の節分祭には毎年多くの方が一年間の福を求めて参拝されます。

未(ひつじ)歳生まれの皆さん、豆撒き行事に是非ご参加下さい。

### ◎募 集 要 項◎

#### 一、日 時

二月三日(火曜日)

豆撒きの時間

一回目 午後六時四十分

二回目 午後七時四十分

三回目 午後八時四十分

※袴への着替えのため、いずれも四十分前には神社に集合していただきます。

#### 二、募 集 人 員

各回 七名 合計二十一名

男女は不問ですが、子供は

七名中二名までです。

※子供は事前の申し込みです。すでに定員になり、募集は締め切っています。

#### 三、参加料

大人 八千円

子供 五千円

#### 四、申 込 方 法

記念写真・記念品を贈呈

住所・氏名・生年月日・電話番号と希望する豆撒きの時間を紙に書いて、参加料を添えて社務所へお届け下さい。

(申込用紙は神社にあります)

袴の数の都合で定員になり次第締め切りますので、お早めに申込をお願いします。

電話での予約も受けています。

電 話 四三一五二三五

フアクス 四三一二一八三

#### 今年の年男・年女(未歳)

平成十五年生、平成三年生、

昭和五十四年生、昭和四十二年生、

昭和三十年生、昭和十八年生、

昭和六年生



一 特設舞台から豆撒き



一 火焼神事

#### ◎火焼神事へのお願い◎

①火焼神事は、午後九時で終了します。遅れないように持参して下さい。

②ビニール袋ではなく、新聞紙または紙袋でお持ち下さい。

③人形(雛人形、武者人形など)は可ですが、ケースのガラスは自宅で処分して下さい。ぬいぐるみも自宅で処分して下さい。

④神社と関係ないものは持ち込まないようにお願いします。

⑤当日は総代(半天を着用)の指示に従い、勝手に投げ込まないようにお願いします。

新嘗祭終了

十一月二十三日到新嘗祭が斎行されました。新嘗祭は一年間の五穀豊穡と諸産業の発展を感謝する祭りです。六月の田祈禱祭で願掛けを行い、秋の新嘗祭は願成就の御礼の祭として斎行されています。御神前には初穂を始めとする神饌、左右の柱には懸税(かけぢ)からの稲穂の束が掛けられました。

★新嘗祭への奉納☆ 【敬称略】

◇懸税・初穂 松山弥八

◇献穀米 長崎県神社庁西彼支部

長崎県神道青年会

◇ミカン 森 健志朗

◇キウイフルーツ 犬塚秀樹

◇献酒 親和銀行多良見支店、たちばな信用金庫多良見支店

◇初穂料 森健志朗、(株)森商会・

森 誠司、JA長崎西彼喜々津支

店長・森 浩幸、古賀春生、松山

弥八、松尾祥吉、老人会誠会 相

良信義、松尾忠憲、北島守幸、山

口眞昭、白石幸男、松崎章雄、峰

誠一郎、村瀬健一郎、草野 敏、

池田芳信、内村典秋、山田豊明、

松森恒一、徳永廣治、岩本 勲、

関山雅孝、前田信太郎、吉野 徹、

松尾清人、大久保治賢、小川虎彦、

前川 功、浦嶋政美 以上

一 神社 Q & A

厄入と厄払

人生の大厄は男四十二才、女は三十三才といわれます。年齢は全て数え年です。四十二は「死」に通じ、三十三才は「サンザン」との語呂合わせの感もしますが、ともに精神的・肉体的に負担が多く苦勞する年令であることに違いありません。

全国的には前厄・本厄・後厄と三年間を厄年として厄除け祈願を行っています。西九州(長崎と佐賀及び福岡の西部と熊本)の北部では、厄入(入厄ともいう)・厄払(厄晴または晴厄ともいう)と二年間で厄年を終えることになっています。

男は数え年の四十一才で厄入

となり、女は数えの三十三才で厄入になります。男は四十二才

が本厄の年で有るにもかかわらず、一年早く厄入を行うことになり、近年なぜなのかと問い合わせが多いようです。これと言った説明も出来ず「昔からの風習で、地域に伝わる文化でもあります」と答えるのみで申し訳なく思っています。

願主と御神酒

願主は本人と共に参拝したり、本人に代わって参拝をし、祈願を行う人です。厄入の場合は、本人が一人で厄を背負うのは大変だろうと、本人の厄の一部を引き受けてやろうというのが、願主の努めといえます。

厄入には願主の他に付き添い

が同行したり、祈願後は真っ直ぐ家に帰らず宴席を用意するようですが、これも本人の厄を皆で分かち合い、本人の負担を少しでも軽くしてあげたいとの思いの結果といえます。

このように願主は他人の厄を引き受けるわけですから、厄年本人と住居が別の人に依頼をしてもらうのが一般的です。

お酒は一般的に二本を「奉獻」と記し持参します。一本は神前に供え、もう一本を「御神酒」としてお下げします。これを持ち帰り祈願後の宴会で御神酒として使用します。団体祈願で御神酒を二本以上希望される場合には、三本以上持参して下さい。

◎祝祭日には国旗を掲げてお祝いいたしましょう。

◎お正月には新しい御神礼おふだを受けて家庭に祀りましょう

# 初詣は阿蘇神社へ!!

## 一年の計は元旦にあり

ご家族お揃いで阿蘇神社へご参拝下さい

◇年未年始の神社行事予定◇

十二月三十一日午後四時 大祓式

午後十一時 除夜祭

一月 一日午前零時 歳旦祭

一月 三日午前八時 元始祭

二月 三日午後五時 節分祭

引き続き 火焼神事

引き続き 豆撒行事

二月 十一日午前十時 紀元祭

都山流尺八愛好会による尺八の奉納演奏があります。

◎紀元祭にはどなたでも参列できます。尺八の伴奏で「紀元節」の歌を合唱します。一緒に歌ってみませんか。

◎ご家族ご近所お誘い合わせ、ご参列下さい。

### 平成27年 算賀表

(年齢は数え年)

厄入	男	41歳	昭和50年生
	女	33歳	昭和58年生
厄払	男	42歳	昭和49年生
	女	34歳	昭和57年生
その他の大厄の年			
	男	25歳	平成3年生
	女	19歳	平成9年生

◎その他、男女とも22歳、28歳、37歳、49歳、52歳、58歳が厄年とされています。

還暦	61歳	昭和30年生
古稀	70歳	昭和21年生
喜寿	77歳	昭和14年生
傘寿	80歳	昭和11年生
米寿	88歳	昭和3年生

◎その他、90歳を卒寿、99歳を白寿、100歳を上寿といいます。

参賀は人生の節目です。神様に報告をいたしましょう。

### お知らせ

◎元旦午前零時より三日まで、参拝者には御神酒(樽酒)を振る舞います。

◎新年の御祈願は元旦午前零時より随時受け付けます。

会社・団体の新年の祈願祭も随時受け付けています。

開運招福・家内安全

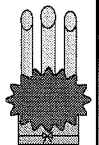
社運隆昌・商売繁昌

厄入・厄払・試験合格

交通安全祈願 他

◎神社の駐車場は台数に限りがあります。ご参拝の皆様方にはご迷惑をお掛けいたしますが、ご容赦のほどお願いいたします。

### 謹賀新年



阿蘇神社	宮司	大島 大明
責任役員	会長	前田信太郎
副会長		吉野 徹
総代		松尾 清人
		大久保治賢
		小川 虎彦
		前川 功
		浦嶋 政美
		草野 敏
監事		高松 悟

### ◆編集後記◆

昨年は阿蘇神社御鎮座四八〇年の節目の年を迎え、神社本庁よりの献幣使の参向のもと、御鎮座四八〇年式年大祭を斎行した▼長崎がんばらば国体も開催され、多良見町でもカヌー競技とゴルフが行われた。前回の国体時(昭和四十四年)は高校三年生、往事を追懐する好機となった▼消費税一〇%は一年半の先送りとなったが、国民所得は、その時本当に増加しているのだろうか▼日ごとに寒さも厳しくなります。ご自愛專一にお過ごし下さい。